

七輪でべっこうあめづくり

炭火さえあれば、簡単な材料、簡単な方法でおいしい「べっこうあめ」が作れます。水と砂糖がいつのまにか、おいしいべっこうあめに早変わり！特に、七輪を使って作ったべっこうあめは、格別おいしく、また作りながら仲間との会話もはずみます。子どもから大人まで、はまってしまう活動です。



活動のねらい・期待される効果

- 火の熱さ、水の冷たさを実体験を通して学ぶことができます。
- 水と砂糖がべっこうあめになる科学的な変化のおもしろさに関心をもつことができます。
- 野外で簡単な火おこし&焚き火(炭火)の体験をしながら、仲間とのコミュニケーションを深めることができます。

一斉実施可能人数	40名	活動季節・条件	通年
所要時間	1時間半～3時間	実施場所	炊飯場など
主な対象	小学生～		
指導について	・事前の作業手順説明、用具・材料準備、見本作り、作りはじめまで職員が指導します。		

活動の概略

炭火をおこし、七輪に入れます。あらかじめ、お玉に砂糖と少量の水を入れ、火にかけながら砂糖が完全に水に溶解透明になるまでわりばしでかき混ぜます。透明になったらかき混ぜるのをやめ、砂糖水がべっこう色になるまで待ちます。色が変わったらわりばしを立てて、お玉を鍋(又はバケツ)の水で冷やします。わりばしが動かなくなったら再度お玉を火にかけ、ずらしながらべっこうあめを外して完成です。**同じ七輪で、焼きマシュマロ(別メニュー)も体験することが可能です。お問い合わせください。**

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

・七輪 ・火バサミ ・バーベキューコンロ ・鍋かバケツ(冷却用) ・お玉 ・やかん
 ・鍋(お玉洗い用) ・残灰処理バケツ ・大きじスプーン ・金タワシ ・新聞紙 ・うちわ

利用者または団体で準備する用具・材料

・砂糖(※上白糖又はグラニュー糖適量) ・わりばし ・軍手 ・ライター ・ふきん

売店または食堂で購入する物

売店で購入 ・炭と薪のセット 300円分(七輪1台分)×七輪の台数 食堂で購入 ・砂糖(上白糖100g 40円)

売店で購入できる物

・わりばし1膳(5円) ・ふきん ・軍手

当日の動き

- (1) 打合せ 必要な用具、材料、作業手順、班編制、注意事項等について確認します。
- (2) 用具の受け取り 売店やボランティア棟で、必要な材料と用具を受け取り準備をします。
- (3) 下準備
 - ①バーベキューコンロを使って火をおこし、炭火を作る。
 - ②約半分の炭火を七輪に移し、残りの炭火でお玉洗い用の鍋の水を沸かす。
- (4) べっこうあめづくり
 - ①お玉に砂糖を大きじ1杯程度入れ、更に砂糖が浸るくらいの水をやかんで加える。
 - ②砂糖水を七輪の火にかけ、わりばし1本を使って透明になるまでかき混ぜる。※かき混ぜ続けると、砂糖に戻ってしまうので注意する。
 - ③砂糖が完全に溶けたらかき混ぜるのをやめ、色が変わるのを待つ。
 - ④薄いべっこう色になったら火から降ろし、わりばしを立てて鍋(又はバケツ)の水でお玉の底を冷やす。
 - ⑤お玉に立てたわりばしが動かなくなったら、もう一度七輪にかけ、少し溶かしながらべっこうあめをお玉からずらし外す。
 - ⑥できたてのべっこうあめは熱くて危険なので、1分以上冷ましてから座って食べる。
 - ⑦使用したお玉を、湯の入った鍋にかけ、きれいにする。
- (5) 試食(ふりかえり) 完成したべっこうあめを十分冷やしてから食べます。
- (6) 用具の片付け 残灰の処理をし、七輪・コンロを片付けます。※いたむので絶対に水をかけないでください。活動場所・貸し出し用具の清掃をし、職員の点検を受けた後、貸し出し用具の返却をします。

安全対策・環境への留意点

- ・やけどをしないように、十分注意してください。特に、小さなお子さんからは絶対に目を離さないでください。
- ・マナーや安全のため、べっこうあめは座って食べましょう。食べながら走り回ると大変危険です。